

—守れるのは私たちだ—

# 文化財防災 パンフレット



# 災害が起こる前にやるべき **4** つのステップ

## 災害発生の準備

文化財の被害を小さくするためには、事前の準備が何よりも大切です！

「群馬県文化財防災ガイドライン」のチェックリストやフローチャートなどを確認しましょう。



群馬県文化財  
防災ガイドライン

## 1 現状確認

日頃の点検により破損部を直したり補強したりすることで、被害の拡大を防ぎます。

破損などの点検をする

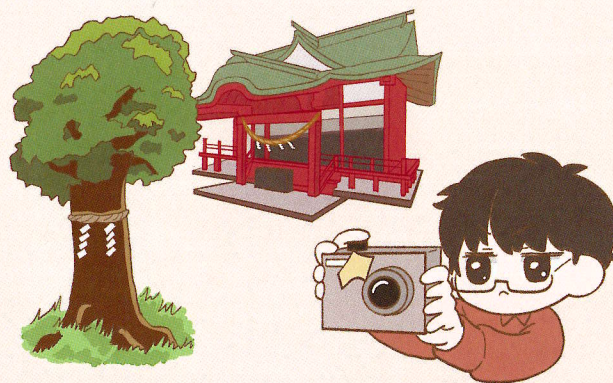
不安な点を市町村に相談する



## 2 現状記録

保管している状況を記録し、市町村と共有しておくことで、災害後の復旧の手がかりとします。

何が、どこに、どのように保管されているか、写真や図面、映像で記録する



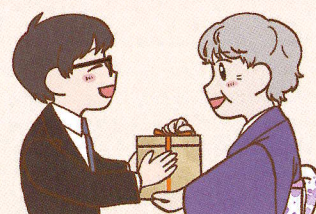
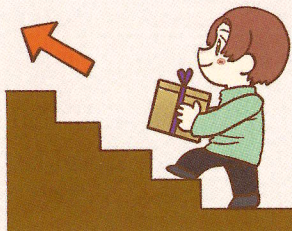
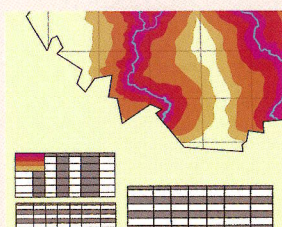
## 3 災害想定

どのような災害の、どの程度の影響があるのか確認しておくことで、万が一の災害に備えます。

市町村のハザードマップや  
防災パンフレットを確認する

設備や保管場所を見直す

文化施設への寄託・寄贈



# 4 避難先の確認

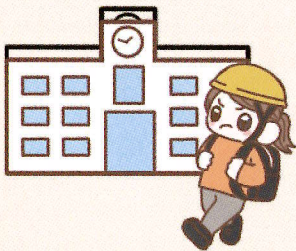
想定した災害に応じて、自分自身と文化財の避難の方法について確認しておきましょう。

## 自分の避難場所

自治体のハザードマップ等を確認し、どのタイミングでどこへ避難するか調べておきましょう。

### 例えば…

- 最寄りの指定避難所
- 最大の大雨でも浸水しない親戚・友人宅
- 最寄りの高い場所や建物（逃げ遅れた場合）

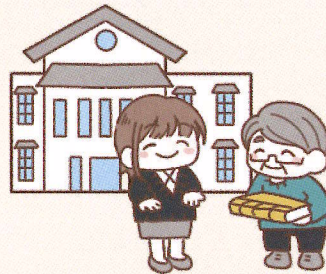


## 文化財の避難場所

絵画や仏像、古文書、民具など、動かせる文化財については、発災時の避難場所を決めておきましょう。

### 例えば…

- 敷地内の高い場所（蔵の2階等）
- 周辺の高い場所や建物
- 地域の博物館や資料館等



市町村文化財保護部局へ相談してみましょう。

★文化財が複数ある場合、避難の優先順位を決めておきましょう。

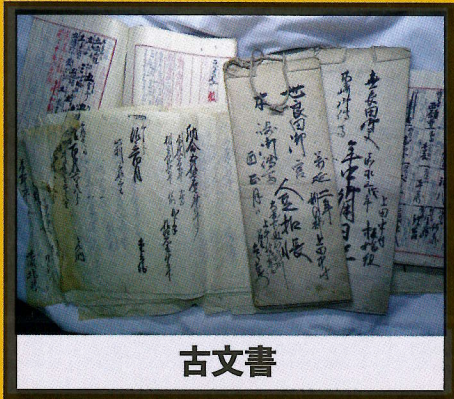
<p>警報発令</p> <p>近くの川の決壊が心配…</p>	<p>文化財がたくさん…どうしよう…</p>
<p>予め優先順位を決めておくと…</p> <p>1番 2番 3番</p>	<p>スムーズに避難できる！</p> <p>1番 2番 避難所</p>

## 災害が起こったら

人命を第一としながら、文化財への被害を軽減するための措置をとりましょう。

文化財が被災した場合は、地元市町村への被害の内容を報告するようお願いします。

少しでも早く対応することができれば、救うことのできる文化財も多くなります。



古文書



絵図



古写真

それ  
**文化財**  
です！



古い生活用具(民具)



建築部材



祭礼等に使う道具や衣装



古い書類

「文化財」と認識されていないものの中にも、  
地域の歴史や文化を語る上で欠かせないものがたくさんあります。  
汚れたり壊れたりしても災害ゴミとして処分せずに、  
市町村や県の文化財保護課まで連絡をお願いします。

緊急連絡先を書き込んでおきましょう

市町村文化財保護部局	☎
県文化財保護課	☎ 027-226-4681

ご覧ください！



群馬県水害リスク  
想定マップ



動画「東日本大震災  
から10年 文化財  
防災の歩み」



文化財防災関係団体  
「群馬歴史資料継承  
ネットワーク」HP

パンフレットデザイン 群馬県立女子大学文学部美学美術史学科デザインゼミ

群馬県地域創生部文化財保護課 令和5年3月発行